

インディアナ日本語学校便り

だいごう
第18号

令和6年9月14日事務所 317-255-1631 メール ijls@indiana-j-school.net

(HP) <http://www.indiana-j-school.net>

校長 森 勝義

第41回運動会に向けて

～成功するための確認事項～

校長 森 勝義

9月21日開催の第41回運動会までちょうどあと1週間。昨年、インディアナ日本語学校の運動会をはじめ観ました。ほぼぶっつけ本番での運動会、子どもたちの取組、先生方の意気込み、運動会全体の運営を仕切っていた高等部の生徒たちの素晴らしい統率力など、日本では考えられないほどの光景を目の当たりにすることができた感激は、44年の教員生活の中で終生忘れえない宝物になりました。その情景、子どもたちの頑張りを1週間後に、また観ることができることは喜び以外の何物でもありません。

もちろん、運営委員会の方が、前日の午後5時に集まっていたき、テント設営、放送機器のセッティング、フィールド競技、トラック競技のライン引き、用具の最終点検等を夜遅くまでやっていたいてました。運動会当日も朝7時に集合し、準備をしてくださっています。保護者の会や安全パトロール、クラスペアレンツの方々のボランティア活動、救護班ボランティアの先生方も、運動会成功の大きな鍵となっています。多くの方々が携わってくださってこそ、子どもたちの笑顔はじける演技や競技を閲覧できるんだと思います。

ただ、昨年度の運動会で多少気になることもありました。保護者の方々の観戦姿勢です。確かにご自分のお子様の雄姿を間近でご覧になりたい、写真を撮りたいお気持ちはよくわかります。しかし、昨年度はフィールド競技、トラック競技などで中に入ってこられて撮影されていた保護者の方々がいらっしゃいました。応援席にいた子どもたちには全く見えていない子たちもいました。ぜひご自分の応援席での観戦をお願いしたいと思います。もちろんカメラマン席が設けられていた場合はロープ内での撮影をお願いいたします。

学年担当の先生方や、高等部の先生方・生徒たちによる運営がしっかりなされていることが成功に繋がっているんだということをご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

子どもたちは我々大人が想像している以上に運動会をとっても楽しみにしています。各学年の徒競走に向けて自宅近くを走り、練習をしている子どももいます。リレーの選手になった子どもたちもトレーニングをしていることを私自身、直接耳にしました。きっとキャプテンを中心にまとめ、ワンチームとなって力の限り、赤組のために、白組のために全力を尽くしてくれることでしょう。校長の私も全力で両組を応援します。今年、私はじけ

ます。保護者の皆様もはじけましょう。

インディアナ日本語学校の運動会運営が伝統となって脈々と流れ、後輩たちにバトンをつなげていくことは大変素晴らしいことです。保護者の皆様、お子様の雄姿を、日本語学校の素晴らしさを一緒に目に焼き付けて記憶に残る運動会にしていきたいと思います。

「One for all, All for one」「ひとはみんなのために、みんなはひとりのために」の精神で、第41回運動会を成功させましょう。

夏の俳句 六年二組

風鈴や みんなにひびく 夏が来た	板垣幸太
暑いなら アイスを食べて 休もうよ	奥谷晏司
大暑の日 みんなのお供 せんぷうき	福村映斗
立夏の日 朝顔咲いた きれいだな	水野谷龍紀
風鈴の 音は涼しく 過ごせるな	村越優響
夕立や 止まって見上げる 虹の空	矢ヶ崎結也
かき氷 シロップかけて いただきます	小森都宥子
夏が来る ほたるの光 あいずかな	川上悠里依
夏休み 成長みよう 朝顔の	久保田沙羅
にぎやかだ せみが鳴いてる 立夏かな	西田菜々子
夏祭り 友と浴衣で 花火見る	松島想果



4年2組 国語単元「一つの花」感想文 「コスモスとよろこび」 飴谷 愛

わたしの心にのこった場面は、お父さんがゆみ子に一輪の花をあげたところです。

なぜかという、お父さんがゆみ子に花をあげた後にくる、「何も言わずに汽車に乗って行ってしまいました。ゆみ子の一つの花を見つめながら。」という文章がいつも心にのこっていたからです。ずっと理由を考えていました。ですが、いくら考えても、お父さんがどんな気持ちで汽車に乗ったのかが分かりませんでした。わたしは、お父さんが、ゆみ子が成長したときはコスモスはいっぱいさいていると知っていて、ゆみ子に、喜びは一つじゃないこと学んでほしかったのだと思いました。

最後に、わたしが一番大切だと思ったことは、何でも「一つだけ」と言わないことです。「一つだけ」という言葉は、少しさみしい言葉なので、わたしはぜったいに言いません。

5年2組 「きいて、きいて、きいてみよう」

「キャビンアテンダントの宮本さん」にきいてみた

石井 碧芭

わたしが宮本さんに聞いたことは、「キャビンアテンダントになって最もよかったことは何ですか。」ということです。宮本さんは、「ありがとう」や「乗ってよかった」などの言葉を言われるときだと言っていました。宮本さんはサービスをするのが好きだそうです。私は宮本さんがいる飛行機に乗ることができてよかったです。

6年1組 「夏休みの出来事」

深川 緒莉

私はオハイオ州でキャンプをしました。キャンプは初めてだったので、わからないこともたくさんありましたが、楽しかったです。キャンプ場に着いた時、まず初めにテントをたてました。家族で力を合わせて組み立てました。次に火を起こして夜ご飯の準備をしました。夜ご飯には炭火で焼いたエビとケバブを食べました。自然の中で食べたケバブは最高においしかったです。次の日は一日中雨でした。雨のせいで外のアクティビティはできま

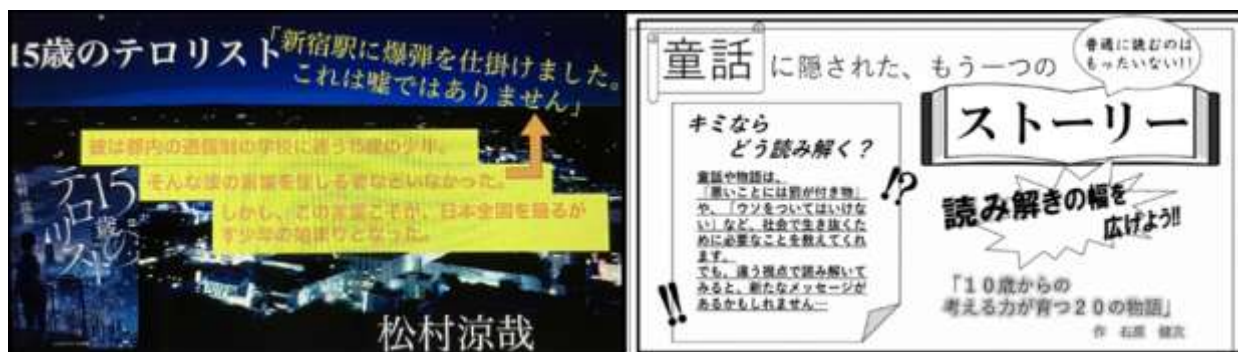
せんでしたが、そのかわりにテントの中で石にペンキで色をぬったりしました。たくさんの石に、いろいろな絵をえがくことができ、楽しかったです。雨は、ちょうど夕方にやみました。夜ご飯を食べたあと、となりのキャンピングカーの子たちと一緒にバレーボールをしました、たくさんの友だちができて、うれしかったです。最後の日には、エリー湖のビーチに行きました。時間がなかったので、水の中には入れませんでしたが、砂浜で遊ぶことはできました。たくさんのもようや色、形の貝がらを見つけることができました。今回の旅行は、とてもいい経験になりました。次は晴れた日に行きたいです。

2024年ポップ作品集 中学1年（読書を楽しもう！）



中学1年2組 川井隼斗

中学1年1組 鳥居紗名



中学1年2組 松原心結

中学1年2組 伊藤優華



中学1年1組 吉原結奏

中学1年2組 安藤歌耶

4年2組 「一つの花を読んで」

津和野 百恵

わたしは、お父さんが戦争に行く前に、一輪のコスモスの花をゆみ子にあげた場面が心にのこりました。戦争に行くということは、死んでしまい、もう二度と会えなくなるかもしれないということです。お父さんは、自分が死んでしまっても、ゆみ子にコスモスを見て思い出してほしいと思ったのかなと感じて切なくなりました。ゆみ子は、「一つだけ」が好きなので、一輪だけもらってえ顔になったゆみ子の顔をお父さんは覚えておきたかったのだと思いました。このお話は、戦争に行くことになった人のかくごと、のこされた家族の思いを伝えたかったのだと思いました。戦争は、ひどくてこわいし、二度とこんなことがあってはいけないと思いました。



かんさつ名人になろう

小学2年2組 三浦楓花

わたしは、6このほうせきをかんさつしました。ぜんぶ1センチメートルでした。色は、赤、青、水色、みどり色、とうめい、むらさきです。赤と青のほうせきの形は、山の形です。とうめいのほうせきは、アポロの形です。みどり色のほうせきは、おにぎりのような形です。むらさき色のほうせきは、ピラミッドの形です。水色のほうせきは、言いづらい形です。ぜんぶのほうせきは、ツルツルです。クロンダイクという学校のブックフェアのイベントでかえます。

◎9月7日

<投稿作品>

小学3年2組	松田 希子	「なつとうに にほんがこいしい やつはしも」
小学6年1組	町田 柚樹	「どようびに おいしい弁当 ウツキウキ」
小学4年2組	後藤 茜	「あいさつで みらいはかわる こんにちは」
小学3年2組	金田 萌花	「なつまつり わたあめいつぱい おいしいな」
小学6年1組	羽田 康生	「カワセミの 口の先には 魚の尾」
小学6年1組	岩谷 颯樹	「土曜日は 日本語学校 楽しみだ」
	職員	「運動会 必ずキメる オレアンカー」
小学6年1組	飯田 逸士	「ガリガリくん フライドポテトは カリカリくん」
保護者	詠み人知らず	「バスは去り ニヶ月ぶりの 開放感」



ヒゲ森の言葉の森・探検

私はいつも自分のできないことをしている。そうすればできるようになるからだ。

パブロ・ピカソ

1881年〜1973年 スペインの画家・彫刻家
自分の能力を最大限に発揮し、さらに伸ばすためには、限界の先にあるものに挑戦しよう。

ぜんなんぜんによ
善男善女

仏教を信仰する人々。また、寺院を参詣する人。現在では罪のない一般大衆の意で用いることも多い